

新ごみ処理施設・子育て支援・高齢者福祉など

2017年度予算要望書を提出しました



12月19日、市民要望に基づき、77項目の予算要望書を副市長を通じて、市長宛に提出しました。

* 新ごみ処理施設の問題では、

扶桑町小淵地区の同意を得ないまま、建設予定地を決定したことは許されないことであり、地元の声に真摯に耳を傾け、要望の実現、失った信頼の回復に努めること。

廃プラスチックを焼却ごみに加える方針は、長年にわたる住民の分別・資源化への努力を無にするもので再考すること他4項目。

* 子育て支援では、

病児・病後児保育の実施、市内中心部に子育てセンターを、布袋地区に一時保育の指定園を。他3項目

* 教育予算では

広島への中学生派遣の復活を。第2子以降の給食費の減免制度を。小中学校にエアコンの設置を。他9項目。→



* 公共交通について

市内公共交通網の再編整備を行うこと。75歳以上の運転免許自主返納者に対し、タクシー券を助成すること。他1項目

* まちづくりについて

常設の地元農産物販売所を作ること。子どもの遊び場の増設、木曾川沿いにバーベキュー場を。他3項目

* 施設使用料の有料化の問題では

パークゴルフ場の料金設定を見直すこと。障がい者やボランティア団体などの減免制度を作ること。福祉センターのお風呂の改修を。他2項目。

* 国保・中小企業対策について

住宅リフォーム助成制度の復活。他3項目

* その他

公契約条例の制定。職員への手話研修の実施。職員採用は正職員を原則とすること。など全77項目を要望しました。詳しくは日本共産党江南市議団のホームページをご覧ください。

名鉄布袋駅エスカレーター

維持管理費も江南市が負担

また臨時福祉給付金を3月に支給

……12月補正予算……

12月議会は、14日に閉会しました。

提案された補正予算には、名鉄布袋駅の鉄道高架事業に伴って設置されるエスカレーターの建物損害保険料千円と維持管理費101万千円（2・3月の2ヶ月分）が盛り込まれました。

すでにお知らせしているように工事費2億3000万円は、全額江南市負担（国の交付金含む）であり、今後の維持管理も、事故が起きたときの責任も江南市持ちです。名鉄は一切責任も負わず、負担もしないという屈辱的なもので、党議員団はこの予算に反対しました。

エスカレーターは鉄道高架の名古屋方面行きが3月に開通することに合わせ、上りホームのみ稼働します。

臨時福祉給付金は、15,000円

消費税が8%に引き上げられてから4回、景気対策として1回、計5回福祉給付金が支給されてきましたが、今回は10%へ引き上げる（H31年10月）までの2年半分15,000円ということです。これで消費税増税分をまかなうことができるでしょうか。消費税を上げないことこそ一番の福祉対策です。

視察報告N03

絵本の里・剣淵町を訪問し研修

10月6日(木)に、映画「じんじん」の舞台となった絵本で町おこしを進める北海道・剣淵町の「絵本の館」を訪問しました。

町長さん自ら出迎えていただき、絵本の里への思いを熱く語っていただきました。

町おこしの歴史は古く、昭和63年に町商工会青年部を中心に「けんぶちをこころ豊かな絵本のふるさと」にしようとして立ち上がり、教育委員会の支援も得て講演会やシンポジウムなどを開催し、絵本の読み聞かせ、絵本巡回文庫など「絵本の里づくり」を担う活動が青年たちの手によって始まっていったということです。

町は、「活動の主体は、住民によるもの」との考えのもと、主に活動拠点の整備（絵本の館や絵本原画収蔵館の建設）、会の活動を財政面（補助金）で支援し、活動を推進してきました。会のメンバーは、仕事をもちながら



絵本の館全景

から事業の中心的役割を担ってきました。

長い間事業を継続することにより、高校生から高齢者まで幅広い世代に活動への協力が広まり、絵本まつりや絵本の里大賞、子育て支援、子どもの居場所づくりと「絵本によるまちづくり」が住民の手によって活発に展開されていることに圧倒されました。

